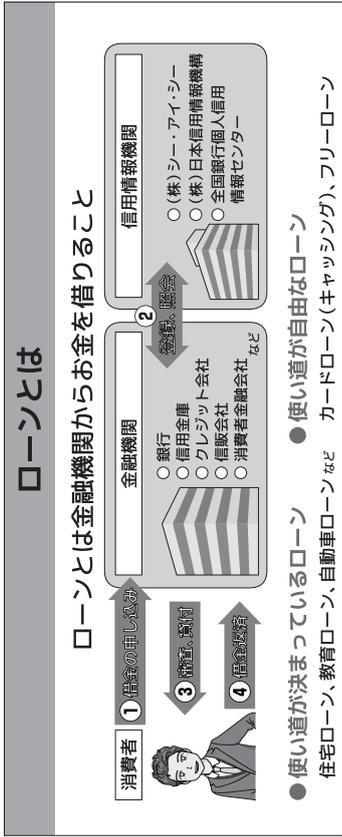


授業展開例③ ステージ3 「クレジットカードは計画的に利用しよう」

- 題材名 キャッシュレス化に伴う金銭管理
- 題材の目標 ・クレジットカードの使い過ぎによるトラブル事例、リボ払いの注意点、手数料（利息）の計算方法について理解する。
 ・万一、多重債務に陥った場合の対処方法について理解する。
 ・クレジットカードは計画的に利用することが大切であることを理解する。
- 学習指導過程

時 間	主な学習活動	指導上の留意点	教材・資料
導 入 5分	● 前回の授業内容を理解しているか確認する。	・クレジットカードの支払方法、ネットショッピングでクレジットカードを使用する際の注意点について理解したか確認する。	
展開Ⅰ 15分	● Web 版読本で「クレジットカードで買い物をし過ぎた場合」を疑似体験する。	・利息計算に必要な用語と、利息の計算方法について理解させる。 ・金利や月々の支払額によって、利息と支払総額が変わることを理解させる。 ・お金を借りる時は、金利と支払総額を確認することが大切であることを伝える。	ワークシート③ ・利息の計算方法 ・利息を計算してみよう ・「利息計算用プログラム」に条件を入力し、利息と支払総額を記入しよう 指導者用資料パワーポイント
展開Ⅱ 10分	● Web 版読本で「多重債務に陥る場面」を疑似体験する。 ● 万一、多重債務に陥ってしまったときの対処法を知る。	・「ローン」「クレジットカードのキャッシング機能」とは何かを解説する。 ・キャッシング機能は簡単に借りられる反面、借り過ぎに注意が必要であることを理解させる。 ・多重債務とはどのようなことか理解させる。 ・借金返済のために借金をすると、利息が雪だるま式に増えてますます返済困難に陥ることを理解させる。 ・多重債務には「債務整理」という救済措置があることを伝える。 ・万一の場合、一人で悩まず消費生活センターへ相談することを促す。	ワークシート③ ・ローン・クレジットカードのキャッシング機能とは ・ローン・キャッシングの注意点 ・ローンやキャッシングを利用する時に注意することをまとめてみよう 指導者用パワーポイント資料
展開Ⅲ 10分	● Web 版読本で「信用情報機関の場面」を確認する。	・信用情報機関は、クレジットカードやローンの契約内容、支払履歴を収集しており、金融機関は契約者の情報を信用情報機関に提供・照会し、返済できるという信用があるかどうかを調査していることを解説する。 ・クレジットカードやローンを利用する際は、計画的に利用することが大切であることを理解させる。	ワークシート③ ・信用は築くもの 指導者用パワーポイント資料
まとめ 5分	● 学習内容をワークシートにまとめ、発問に答える。	・利息の意味、多重債務とその対処法、クレジットカードやローンを計画的に利用することの大切さについて理解できたか、発問する。	ワークシート③ ・まとめ

【ローン・クレジットカードのキャッシング機能とは】



- ・ローンは（金融機関）からお金を借りることをいう。
例：（教育）ローン、（住宅）ローン など
- ・クレジットカードには買い物だけでなく、お金を借りる機能もついている。
これを（キャッシング）機能という。
- 【ローン・キャッシングの注意点】
- ・キャッシングは、ATMから簡単にお金が借りられる反面（借り過ぎ）に注意が必要。
- ・借金返済のために、A社、B社、C社へと新たな借金を繰り返す、返済困難な状況に陥ることを（多重債務）という。
- ・返済能力を起え、借金返済ができない場合は経済的な立ち直りを図る（債務整理）という方法がある。具体的には任意整理、特定調停、個人再生手続き、（自己破産）がある。
- ・万一の場合、一人で悩まず（消費生活センター）へ相談する。

【ローンやキャッシングを利用する時に注意することをまとめてみよう】

例) クレジットカードやローンを利用する前に、本当に必要なかどうかよく考える。
買いたいものがあるときは、まず貯蓄をすることで、借りる金額を最小限にする。
返済の見込みがない借金はしない。
クレジットカードやローンで支払う分は先に分けて管理する。

【信用は築くもの】

- ・信用情報機関とは、クレジットやローンなどの（契約内容）や（支払状況）を一括管理している。
- ・金融機関は、契約者の信用情報を信用情報機関に（提供）し、（照会）し、信用を調査している。
- ・支払の（延滞）が続くとその情報が金融機関で共有され、新たにクレジットカードを作るときや住宅ローンなどでお金を借りるときに（審査）が通らないこともある。

【まとめ】この学習全体を通して、あなたの意見が変わったところはどのようなところですか。

例) リボ払いはテレビや広告でよく見かけるので簡単に利用できると思っていたが、利率が高いことを知った。クレジットカードを利用するときは、利率がいくらかかるか調べてから利用しないといけないと思った。支払の延滞で、いざ住宅ローンを借りたいと思っても利用できないことがあることを知った。クレジットカードやローンを利用する前に、本当に必要なかどうか考えたいと思う。

ワークシート③ クレジットカードは計画的に利用しよう

【利息の計算方法】

- ・利息の計算方法は（元金）×（金利）×（期間）
- ・元金とは（借りた）お金。
- ・金利とは元金に対する一定期間の（利息）の割合。

【利息を計算してみよう】

50万円を年利15%で借りるとき、利息はいくら？

① 1年後に支払う利息は $50万円 \times 15\% = (75,000)$ 円

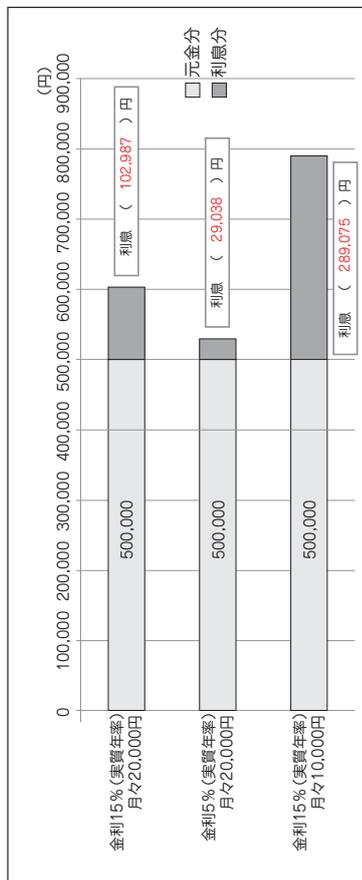
② 1か月後に支払う利息は $50万円 \times 15\% \div 12 = (6,250)$ 円

③ 1日後に支払う利息は $50万円 \times 15\% \div 365 = (205)$ 円

【「利息計算プログラム」に以下の条件を入力し、利息と支払総額を記入しよう】

条件：月々支払額	金利(実質年率)	元金分	利息分	返済総額
月々20,000円	金利 年15%	500,000	102,987	602,987
月々20,000円	金利 年5%	500,000	29,038	529,038
月々10,000円	金利 年15%	500,000	289,075	789,075

<元金50万円のリボ払いの利息(元利均等返済)>



- ・金利や月々の（支払額）によって、支払総額は変わる。
- ・金利が（高い）と利息は多くなる。借りる期間が（長い）ほど利息は増える。
- ・お金を借りる時は（金利）が何%で、（支払総額）がいくらになるか確認することが大切である。